

環境活動レポート

期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日



株式会社 大建工業所

作成日 平成27年5月14日（第9版）

I 組織の概要

(1) 事業所名 代表者名

株式会社 大建工業所
代表取締役 川村 隆英

(2) 所在地
(取組の対象全組織)

吹田営業所 吹田市山田西1-34-1
中島営業所 大阪市西淀川区中島2-13-8
本社 大阪市淀川区田川北2-4-10

(3) 設立年月日

昭和36年7月1日 (法人設立昭和41年4月)

(4) 資本金

1,000万円

(5) 環境関係責任者

環境管理責任者 岡本 紀和
TEL 06-6877-0771

(6) 事業内容
(取組の全活動)

本社 事務所機能のみ
吹田営業所 一般廃棄物収集運搬 産業廃棄物収集運搬
中島営業所 飲料水・貯水槽清掃 産業廃棄物処分量 (中間処理)

(7) 事業の許可

別掲

(8) 事業の規模

活動規模	単位	2013年	2014年
処理量	t	21393	20281
売上高	百万円	527	532
従業員	人	41	39
床面積 吹田	m2	426	426
床面積 中島	m2	130	130
敷地面積 吹田	m2	1256	1256
敷地面積 中島	m2	1987	1987

(9) 処理量

26年度 t
一般廃棄物 家庭系ごみ 9292
事業系ごみ 4568
浄化槽汚泥 1495
産業廃棄物 4730
特別管理産業廃棄物 196

(10) 車両の保有台数

パッカー車 (4t) 9台
パッカー車 (2t) 4台
コンテナ車 (4t) 1台
ダンプ車 (2t) 4台
バキューム車 (4t) 2台
バキューム車 (2t) 1台
医療収集車 (2t) 1台
医療収集車 (1t) 1台
その他車両 7台

(14) 一般廃棄物収集運搬業許可

	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の種類
吹田市	吹田市指令環事第3号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	事業系ゴミ
吹田市	吹田市指令環減 第2008号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥
高槻市	106U108	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥
摂津市	摂津市指令第13号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥
大阪市	大阪市指令環境事第503号	平成26年4月1日	平成28年3月31日	浄化槽汚泥し尿を含む汚泥

(15) 産業廃棄物収集運搬業許可・許可年月日・許可有効期限

	許可番号	許可年月日	許可有効期限
大阪府	第2700003765号	平成23年1月19日	平成28年1月9日
大阪市	第6600003765号	平成23年2月8日	平成28年1月13日
兵庫県	第02803003765号	平成23年11月21日	平成28年11月20日
奈良県	第02900003765号	平成26年10月15日	平成31年10月14日

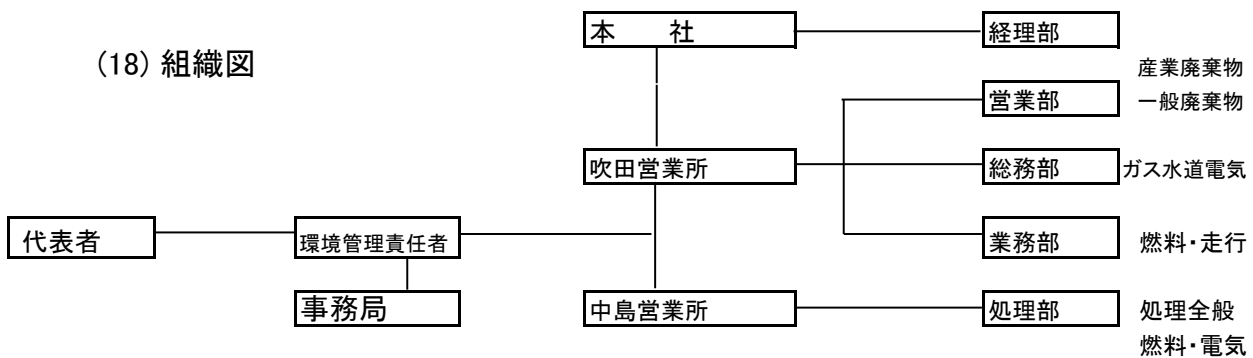
(16) 特別産業廃棄物収集運搬業許可・許可年月日・許可有効期限

	許可番号	許可年月日	許可有効期限
大阪府	第2750003765号	平成25年6月16日	平成30年6月15日
兵庫県	第02853003765号	平成26年3月10日	平成31年3月9日

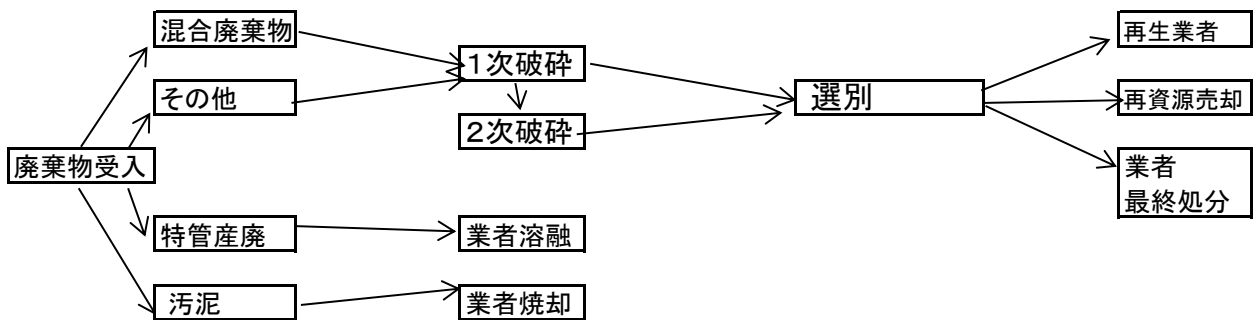
(17) 産業廃棄物処分業許可・許可年月日・許可有効期限

	許可番号	許可年月日	許可有効期限
大阪市	第6620003765号	平成26年11月4日	平成31年8月24日

(18) 組織図



(19) 処理工程図



II 対象範囲 全組織及び全活動である

Ⅲ 環境方針

環境理念

環境保全が当社の経営理念であり、一般廃棄物、産業廃棄物の処理業として地球環境にやさしく取組むため、あらゆる環境保全に配慮した活動を推進します。又 近隣地区を全社員で定期的に清掃奉仕活動を実施する事により地域住民との密着を深めてゆくと共にクリーンな環境の保持に努めます。

基本方針

当社は環境に与える 影響を的確に捉え、環境目的、目標を定めて環境管理を推進し、会社全般にわたって、自然環境を良くし、資源を大切にすることに努めます。

- 1 収集運搬車両のエコドライブを実施し省エネと排ガスの抑制に取り組めます。
- 2 処理に於いても分別方法を工夫し分別技術の向上を目指し、廃棄物の中から、より多くの資源を供給することを自社の環境配慮活動として実施します。
- 3 水・電気・ガスを効率的に利用し、使用量の削減に努めます。
- 4 環境関連法規制等を遵守します。
- 5 グリーン購入を推進します。
- 6 環境コミュニケーションを推進します。
- 7 整理・整頓を徹底し、安全作業に努めます。

当社の従業員にこの環境方針を周知するとともに目的 目標に向かって推進いたします。 尚 この環境方針を内外に向けて公開します。

平成25年 4月 1日

株式会社 大建工業所

代表取締役 川村 隆英

IV 環境目標

2008年度を基準年度として、その実績（基準値）およびその後の目標は次のとおりです。
 なお、軽油については2013年度実績を基準値として見直しています。電力も中島（営）のみ2013年度実績を基準値として見直しています。

※電力のCO₂排出係数：基準年度0.378 2012年度0.355 2013年度以降0.45 kg-CO₂/kWh

項目 単位	2008年度 基準値	2014年度 (削減率)	2015年度 (削減率)	2016年度 (削減率)	2017年度 (削減率)
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ /年	273695	276982 6%	273799 7%	270615 8%	247387 9%
電力の使用量 kWh/年	138127	136746 1%	135364 2%	133983 3%	132602 4%
ガソリンの使用量 ℓ/年	14971	13174 12%	12875 14%	12576 16%	12276 18%
軽油の使用量 ℓ/年	71170	70458 1%	69747 2%	69035 3%	68323 4%
一般廃棄物排出量 kg/年	1800	1692 6%	1674 7%	1656 8%	1638 9%
水使用量 m ³ /年	3212	3126 3%	3062 5%	2998 7%	2934 9%
グリーン購入の推進 品目数		エコマーク商品 6品目	エコマーク商品 6品目	エコマーク商品 6品目	エコマーク商品 6品目

軽油は、2013年度実績を基準値とし、以後毎年1%ずつの削減目標とした。水道使用量は洗車強化の為再設定、中島（営）の電力は稼働時間が大幅に伸びたので再設定した。

PRTR法対象となる化学物質の使用はない。

都市ガスの使用については、大きなウェイトでないため、今後の取り組み拡大で検討する。
 上記のうち、中島事業所（中間処理）

項目 単位	2008年度 基準値	2014年度 (削減率)	2015年度 (削減率)	2016年度 (削減率)	2017年度 (削減率)
電力の使用量 kWh/年	92389	91465 1%	90541 2%	89617 3%	55433 4%
kgCO ₂	34923	41159 6%	40744 7%	40328 8%	39912 9%
一般廃棄物排出量 kg/年	350	329 6%	326 7%	322 8%	319 9%

（水使用量は、家賃に含まれる程度※CO₂排出量の2013年度以降増加は、排出係数の増加による。
 （搬入搬出等の車両燃料は、本社管理です）

環境配慮活動；受託産廃のリサイクル率向上と最終処分率の削減

項目	2008年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
リサイクル率	11%	17%	18%	19%	20%
最終処分率	89%	83%	82%	81%	80%

※リサイクル率＝再生量/中間処理量×100

※最終処分率＝中間処理後最終処分量/中間処理量×100

V 環境目標の実績と評価

(1) 2008年度を基準年とした、2014年度の目標に対する実績と環境活動の結果は次のとおりでした。

なお、軽油については2013年度実績を基準値としています。

全社 < 2014年4月～2015年3月 >

※電力のCO2排出係数は0.45kg-CO₂

項目 単位	2008年度の基準値 本年の目標値	実績値 増減率%		評価	
電力の使用量 kWh/年	138127 136746	129157 6%	減	○	吹田営業所は目標達成したが、中島営業所も、機械の稼働が増えたため目標値を変えて達成できた。もつと稼働時に気をつけて。
ガソリンの使用量 ℓ/年	14971 13174	13165 0%	減	○	
軽油の使用量 23年度実績 基準値 ℓ/年	71170 70458	71432 -1%	増	×	軽油の燃費は達成できている。これからも燃費重視してエコドライブに徹していく。
CO ₂ 合計 kg-CO ₂ /年	273695 276981	265070 4%	減	○	目標値を変えたので達成できたが、軽油の増加分は燃費向上でカバーしたい
一般廃棄物排出量 kg/年	1800 1692	1130 33%	減	○	分別に徹してそして、エコマーク商品を利用して、ごみ減量に目標を達成します。
水使用量 m ³ /年	3212 3126	2793 11%	減	○	節水に頑張ったが、もっと洗車時に無駄な水をなくするように。風呂も節水に気をつける。
グリーン購入 6品目	6品目 0%	6品目 0%	—	○	これからもエコマーク商品を利用して目標を達成したいです。

※ 軽油は、2013年度実績を基準値とした。

※ 水使用量は、吹田営業所での洗車用水と風呂使用水が大半です。

上記のうち、中島事業所（中間処理）

※電力のCO2排出係数は0.45kg-CO₂/kWh

項目 単位	2013年度の基準値 本年の目標値	実績値 増減率%		評価	
電力の使用量 kWh/年	92389 91465	91382 0%	減	○	目標は達成できたが、稼働が多くなってきたので、節電に気を配りこれからも目標に向かって頑張ってください。
kg-CO ₂ /年	34923 41159	32441 21%			
廃棄物排出量 kg/年	350 329	135 59%	減	○	分別に力を入れて、エコマーク商品を利用して、ごみ減量に目標を達成します。

※ ○：達成 ×：未達成

(2) 本社事務所については(株)ジオメイクのビル内にあるため定量的把握はできません。
 そのため、次の定性的取組を実施しています。

電力使用量削減	・不必要な照明をなくす	○	今後も削減に努力していきたい。
	・エアコンの温度調節	○	
	・不要なコンセントは抜く	○	
廃棄物排出量削減	・使用済み封筒の再使用	○	
	・不用紙の裏面使用	○	
	・こまめな分別	○	
上水使用量削減	・手洗い時の節水	○	

(3) 環境配慮活動；受託産廃のリサイクル率と最終処分率実績と評価

受託産業廃棄物	2008年度 基準値 本年目標値	2014年度 実績値 達成率	評 価	
リサイクル率	11% 17%	23% 135%	○	リサイクル率、最終処分率ともに目標を達成できた、次年度も目標達成に努める。
最終処分率	89% 83%	50% 166%	○	

VI 主要な環境活動計画の内容・次年度取組内容

次年度取組内容

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 二酸化炭素排出量の削減 | |
| ① 車両の燃料の使用量の削減、燃費の向上 | |
| ・全車両の点検整備 | ○ |
| ・アイドリングストップ | ○ |
| ・急発進・急停止をしない | ○ |
| ・不要な物を載せない | ○ |
| ② 電気使用量の削減 | |
| ・不必要な照明をなくす | ○ |
| ・エアコンの温度調節、運転停止時の電源OFF | ○ |
| ・不要なコンセントは抜く | ○ |
| (2) 廃棄物総排出量の削減 | |
| ① 使用済み封筒の再使用 | ○ |
| ② 不用紙の裏面使用 | ○ |
| ③ こまめな分別 | ○ |
| (3) 使用水道の削減 | |
| ① 洗濯時の無駄なすすぎはしない | ○ |
| ② 洗車時の無駄な水出しはしない | ○ |
| ③ 風呂での無駄な水出しはしない | ○ |
| (4) 受託産業廃棄物の資源化の推進 | |
| ① 選別段階での選別の徹底 | ○ |
| (5) グリーン 購入の推進 | |
| ① エコマーク商品の利用 | ○ |

VII 環境活動計画の取組結果と評価

凡例：◎：十分できた △：5割程度できた ×：ほとんどできなかった

- | | |
|--|--------|
| (1) 二酸化炭素総排出量の削減 | |
| ① 車両の燃料の使用量の削減 | 取組結果 ◎ |
| ・軽油は達成できてないが、燃費を重視し、洗車、整備点検を良くした。 | |
| ・今後も目標に向かって努力します。 | |
| ② 電気使用量の削減 | 取組結果 ◎ |
| ・全員で率先して節電に努力して目標を達成できました。 | |
| ・暖房と冷房の温度調節に気をつけた。今後も節電に努力します。 | |
| ・中島営業所は稼働増大の為不要な電力は使用はしない。 | |
| (2) 廃棄物総排出量の削減 | 取組結果 ◎ |
| 全員がゴミ減量運動をして、再利用して目標は達成された。エコ商品の利用で、今後も目標に向かって達成したい。 | |
| (3) 使用水道の削減 | 取組結果 ◎ |
| 目標は達成された、洗車回数が増えているが洗車の節水にきをつけてる。洗面等の蛇口のシャワー出しの効果はあった。続ける。風呂の使用水も無駄な水は出さない。節水に心がけてる。 | |
| (4) 受託産業廃棄物の資源化の推進 | |
| ① 選別段階での選別の徹底 | 取組結果 ◎ |
| 熟練者が手際よく選別した結果、目標達成できた。今後もさらに選別を徹底していきたい。 | |
| (5) グリーン 購入の推進 | |
| ① これからもエコマーク商品の利用をしたい。 | 取組結果 ◎ |

VIII 環境関連法規等の違反・訴訟の有無

過去3年間次に掲げる環境関連法規のチェックの結果、違反はありませんでした。関係機関からの指摘も無く、地域住民の苦情も無く又 訴訟もありませんでした。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	遵法
大阪市廃棄物の減量推進、適正処理に関する条例及び規則	廃棄物の適正処理	遵法
吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び規則	廃棄物の適正処理	遵法
自動車NOX・PM法、大阪府生活環境保全条例	ディーゼル車排ガス 規制・流入車規制	遵法
騒音規制法第4条第1項の規定に基づく規制基準	規制基準	遵法
振動規制法第4条第1項の規定に基づく規制基準	規制基準	遵法
吹田市浄化槽法施行細則	浄化槽の適正管理	遵法
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	遵法

IX 代表者による評価と見直し

電力、ガソリン、一般廃棄物、水及びグリーン購入については、目標を達成できた。軽油については、目標達成できなかった。これは客先分別徹底への移行などの要因があるが燃費では、向上出来ている、今後も引きつづき環境経営を推進して行きたい。

X 地域清掃活動

会社前道路清掃を毎土曜日に実施しています。

